



出張報告書

令和 6 年 7 月 5 日

尼崎市議会議長 様

会 派 名 無所属
代表者氏名 池田 りな
出張者氏名 池田 りな

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

1 出張期間 令和 6 年 5 月 17 日 1日間

2 結果の概要

用務先 渋谷区 中央区	報告事項 (この欄には要点を箇条書きにし詳細事項がある場合は別紙添付) 1. 全国地方議会議員勉強会 明日から使える議員の「伝え方」言語化・内容構成編 2. 早稲田大学マニフェスト研究所 地方議員が ゼロから始めるChatGPT活用
添付書類 ☐ 出張報告書 ☐ ☐ ☐	備 考

3 届出事項の変更等 ☒ なし ☐ あり (内容は裏面に記載)

旅 費 の 精 算

- ☐ 精算額は、令和 年 月 日届け出た額 (32080 円) と同一額である。
- ☐ 届出事項の変更等により、別途精算する。(精算額は裏面に記載)

(裏面)

届出事項の変更等の内容

変更等の事項と理由

支 出 額	
精 算 額	
支出 差引 額 戻入	

変更前と後の日程

月	日	日	日	日	日	日	日
前 発着地							
後							
前 経 路							
後							
前 用務先							
後							
前 宿泊先							
後							

出張報告書

尼崎市議会議員 池田 りな

テーマ：明日から使える議員の「伝え方」言語化・内容構成編

日時：5月17日（金）10時半～12時

講師：株式会社カエカ 代表取締役 千葉 佳織氏

【概要】

全国歴代最年少である26歳で芦屋市長に就任した高島峻輔氏に選挙演説の指導をしたことでも話題になった株式会社カエカ代表の千葉 佳織氏より講義を受けました。

同社では、人工知能（AI）で個人の語りを数値化する評価ツール「kaeka score」を使用し、「言語力」「構成力」「音声」などを細かく分類した8つの要素を分析しているそうです。受講者に応じて、スコアの結果から話し方の癖や課題に合わせたトレーニングのカリキュラムをオーダーメイドでつくっているそうです。同社の提供サービスは、多くの政治家も利用していると講師がおっしゃっていました。

2024年3月、NHKが行った全国の10代から70代までの3000人に対する「政治意識に関する調査」インターネットアンケートによると、選挙にあまり行かない・行ったことがないと答えた人の理由のうち、「関心がない」が38.9%、「政治のことがわからない」が13.9%でした。

私自身、議員になる前は政治には関心をもちつつも、政治家がやっていることには興味を持てませんでした。国・県・市議

会も紙やネット媒体で情報発信をしていますが、専門用語が並び、進んで読もうと思ったことはありませんでした。

議員になってからは、市民の方に政治に関心を持ってもらうには、伝え方に工夫が必要であると考え、今回の講座を受講いたしました。

講座の中で特筆すべき点を書きます。1点目は、話はストーリーとファクトに分けられ、状況に応じてその割合を変えると講師がおっしゃっていたことです。状況は、話す対象や話をして自分が何を実現したいのかによって変わってきます。

2点目は、具体的なスピーチの内容について解説がありました。事例として、野田元首相の安倍総理への追悼、自民党政権の総裁選、オバマ大統領など政治家のスピーチの分析と解説がありました。スピーチで大切なことは、あとで「〇〇なスピーチだった」と分かる内容に意識して構成することも大切だと講師がおっしゃっていました。

たとえば、2008年アメリカ合衆国の大統領選挙において、バラク・オバマ大統領のスピーチでは「Yes We Can」、2005年スタンフォード大学の卒業式でスティーブ・ジョブスが「Connecting the Dots」というフレーズを残したことが有名です。講座の詳細は有料になるため、具体的な内容を記載することは控えさせていただきます。

千葉香織氏は、スピーチの内容を単に伝えるだけでなく、聴衆にどのように響かせるか、そのための表現方法についても詳細に教えていただきました。特に、声のトーンや間の取り方、

身振り手振りなど、細部にわたる指導がありました。今後、これらの学びを活かし、市民の皆さんに対してより効果的にメッセージを伝える努力を続けていきます。

テーマ：地方議会を変革する生成 AI 活用講座 ～地方議員がゼロから始める ChatGPT～

日時：5 月 17 日（金）13 時～17 時半

講師：早稲田大学マニフェスト研究所 招聘研究員

林 紀行氏（日本大学法学部教授）

早稲田大学マニフェスト研究所 招聘研究員

西川裕也氏（NTT アドバンステクノロジー（株）

【概要】

2024 年 4 月 19 日に総務省と経済産業省から新たな「AI 事業者ガイドライン」が発表されました。民間および自治体で生成 AI の活用が増えています。

講座では、地方議会を変革する生成 AI の活用について学びました。特に、ChatGPT を活用して参加議員が各自治体の課題を考えたり、AI を用いた模擬議員間討議を実施するなど、具体的な利用方法を体験しました。他市の取り組みも紹介され、非常に参考になりました。

講座で紹介があった事例をあげます。兵庫県神戸市では、2024 年 3 月全国初の包括的な AI 条例を施行し、2024 年 9 月か

ら生成 AI の試行利用を経て本格的に利用が始まります。AI 条例では、職員が AI を利用する際に、非公開情報の入力を禁止し、議会での説明においても、AI に判断を委ねることなく、自らの責任で説明することを定めています。生成 AI の利用にあたっては、活用した結果がおよぼす影響レベルに応じてリスクアセスメントを行ない、安全性を確認することを義務づけました。

神奈川県横須賀市では、「変化を力に進むまち」を市の未来像に掲げ、自治体としては初めて生成 AI の「ChatGPT」を全庁に導入しています。2023 年 8 月には、「他自治体向け問い合わせ対応ボット」を開設しました。職員の対応時間の削減と業務時間の削減も目的にしています。2024 年 4 月には、生成人工知能（AI）でつくった上地克明市長のアバター（分身）が、英語で施策を紹介する動画の配信を始めました。在日米海軍の基地がある市内には約 2 万人の基地関係者のほか、7000 人ほどの外国人が暮らしています。AI を活用して、言葉の壁を越えた市の情報発信の強化を目指しています。

神奈川県相模原市では、6 月の市議会議会から、市長答弁の文案作成に生成人工知能（AI）を本格的に導入しました。44 件の答弁案を作成したと報告されています。AI に市議から通告された質問文を入力すると、瞬時に答弁の原案を作成できます。職員が加筆や修正をした上で、最終的に市長が文案を完成

させます。市は職員の負担軽減や残業時間の削減につながると期待しています。

尼崎市では、シフト社と連携し DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進しています。2023 年 12 月 20 日に発表された取り組みでは、行政手続きの効率化や市民サービスの向上を目指し、生成 AI を活用した様々なプロジェクトが進行中です。具体的には、AI チャットボットによる市民対応の強化や、データ分析による行政サービスの改善が挙げられます。

尼崎市において、早急に市議会での AI の活用について議論を始めるべきと考えます。一般質問の答弁書を作成するのに市の職員は膨大な時間を費やしています。AI を活用することで働き方改革にもつながります。勉強会で学んだことを活かして市に提案してまいります。